

チェルノブイリ汚染茶について



上の缶と、下のアルミ袋の中に入っているお茶は、生活クラブ生活協同組合が共同購入していた、三重県 86 年産のお茶で、86 年 4 月 26 日旧ソ連で起きたチェルノブイリ原子力発電所の爆発事故によって、放射能に汚染されたものです。同じ茶畑の茶葉は、たんぼぼ舎による当時の測定でセシウム合計最高値 227Bq/kg ありました。

この缶の茶葉は、缶記載によると、以下の通りです。

- ・名称 緑茶
- ・容量 100 g
- ・生産者 (有)生活クラブわたらい茶生産グループ
堆肥による土づくりを基本とした有機農法により栽培され
‘86年に生産加工された一番茶、二番茶をブレンドしたものです。荒茶加工だけで仕上げ加工をしていないので、大きさはバラバラです。



缶の茶葉は、当時の測定の結果ではセシウム合計 81Bq/kg と記録されています。右図は、缶裏に貼られていた測定結果のグラフで、セシウム 134、137 のグラフがくっきりと表れています。

柏市放射能測定器運営協議会では、数回にわたり測定を続けていますが、茶葉は同じものを保管して測定しました。



今回の測定では、左図のアルミ袋のものを使用しました。結果は、セシウム 137 が 21.08Bq/kg でした。この数値から計算すると、86 年当時の茶葉は推計 58.5Bq/kg と考えられます。(ベクミル計算による) セシウム 134 は検出されていません。